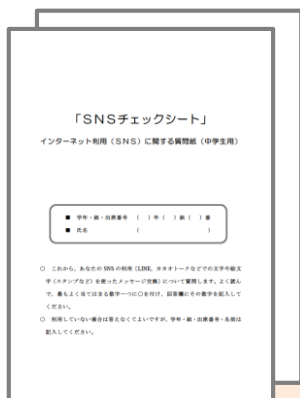


「SNSチェックシート」解説書



■ 質問紙

- ・ 質問項目 p.1
- ・ 実施上の留意点 p.2
- ・ データ入力 p.2



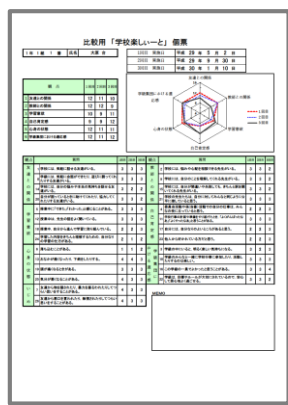
■ 個 票

- ・ 利用の実態 p.3
- ・ SNS観点と下位項目 p.4
- ・ レーダーチャート p.6
- ・ SNSをよく利用する子供の特徴 p.7



■ 学級票

- ・ 利用の実態 p.8
- ・ SNS観点と下位項目 p.8
- ・ 度数分布 p.9
- ・ 帯グラフ p.9
- ・ レーダーチャート p.10
- ・ 参考 p.10



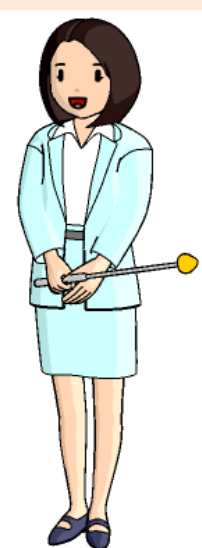
■ 「学校楽しいーと」との併用

- ・ 相関関係 p.11
 - ・ 小学6年生 p.12
 - ・ 中学2年生 p.12
 - ・ 高校1年生 p.13
 - ・ 高校2年生 p.13
- ※上記以外の学年は調査していません



「SNSチェックシート」について教えてください。

分かりました。私がアシスタントをしますね。



質問項目

「SNSチェックシート」

インターネット利用（SNS）に関する質問紙（中学生用）

- 学年・組・出席番号 () 年 () 組 () 番
- 氏名 ()

- これから、あなたの SNS の利用（LINE、カカオトークなどの文字や絵文字（スタンプなど）を使ったメッセージ交換）について質問します。よく読んで、最もよく当てはまる数字一つに○を付け、回答欄にその数字を記入してください。
- 利用していない場合は答えなくてよいですが、学年・組・出席番号・名前は記入してください。

- (1) あなたは、普段、LINEなどのSNSを週にどれくらい利用していますか。
ほぼ毎日使う (週に3～4日) ときどき使う (週に1～2日) あまり使わない (月に数回) ほとんど使わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (2) あなたは、平日にLINEなどのSNSをどれくらい利用していますか。だいたいの時間を教えてください。
2時間以上 1～2時間未満 30分～1時間未満 30分未満
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (3) あなたは、LINEなどのSNSを使い始めてどれくらいになりますか。
2年以上 1～2年 6か月～1年 6か月未満
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (4) あなたは、チャットをするグループ（グループチャット）にいくつ入っていますか。
21グループ以上 11～20グループ 1～10グループ グループなし
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (5) あなたが利用するLINEなどのSNSは学校のメンバーが多いですか、それとも学校のメンバーが多いですか。
ほとんど学校のメンバーが多い 学校のメンバーが多い 学校のメンバーが少ない ほとんど学校のメンバーが少ない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- メッセージのやり取りをする際に、以下のことについてどの程度、気をつけていますか。
- (6) 住所や電話番号、メールアドレス、顔がうつっている写真などの情報は出さないようにしている。
とても気をつけている 気をつけている あまり気をつけていない 全く気をつけていない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (7) 相手が不快な気持ちになるような内容は書かないようにしている。
とても気をつけている 気をつけている あまり気をつけていない 全く気をつけていない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (8) メッセージを送る前に問題がないか確認をするようにしている。
とても気をつけている 気をつけている あまり気をつけていない 全く気をつけていない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (9) 長時間にならないようにメッセージのやり取りをしている。
とても気をつけている 気をつけている あまり気をつけていない 全く気をつけていない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (10) メッセージのやり取りで嫌な気持ちになったときは、直接、会話を気持を伝えるようにしている。
とても気をつけている 気をつけている あまり気をつけていない 全く気をつけていない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____

※ (1) から (10) の質問項目で○を付けた数字を下の欄に記入してください。

項目	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
回答										

- (11) メッセージのやり取りで困ったときは親や先生に相談するようにしている。
とても気をつけている 気をつけている あまり気をつけていない 全く気をつけていない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- 自分の気持ちや考えに当てはまる番号を選んでください。
- (12) SNSでのやり取りを通じて気持ちを確かめることができる。
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (13) SNSでメッセージのやり取りをすることでつながりをもてる。
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (14) SNSでメッセージのやり取りをして、さびしさをすぐにまぎらわすことができる。
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____

- SNSでやり取りをして、以下のことについて悩んだり、負担に感じたりすることがありますか。
- (15) メッセージがきたらすぐに返事をすること。
とてもあてはまる あてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (16) 送られてくるメッセージをチェックすること。
とてもあてはまる あてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (17) メッセージのやり取りをなかなか終わらせられないこと。
とてもあてはまる あてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (18) 自分が送信したメッセージに対する反応がないこと。
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (19) メッセージの送信後、「あの伝え方でよかったのだろうか」と悩むこと。
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____
- (20) 知らないところで自分のこのメッセージをやり取りしているのではないかと心配になること。
とても思う 思う あまり思わない 全く思わない
- 4 _____ 3 _____ 2 _____ 1 _____

※ (11) から (20) の質問項目で○を付けた数字を下の欄に記入してください。

項目	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
回答										

質問紙は、SNSの利用状況に関する (1) ～ (5) の5項目の質問と、SNS観点から心理状態を客観的に把握する (6) ～ (15) の15項目の質問の計20項目で構成されています。

回答は、最もふさわしいと思う数字の中から一つを選択する4件法となっています。約10分で回答できる内容です。

なるほど…。

「SNSチェックシート」は、小学生の高学年以上を対象に想定して作成しました。この質問紙は中学生用になります。



実施上の留意点

- 評価するものではない。
児童生徒が2回目以降の調査においても安心して回答できるように、調査結果を否定的な見方で評価したり、叱責するための資料として活用したりすることがないように注意する。
- 結果を絶対視してはいけない。
結果は児童生徒の一面を捉えた資料であるため絶対視するのではなく、観察法・面接法等で児童生徒の理解を図ったり、他の教師と情報交換をしたりして共通理解を深めるようにする。
- 実施することが目的ではない。
実施して終わるといことがないように、教育相談や学級経営などにつなげるなど継続的な指導・支援に役立てる。
- 個人情報保護に気を付ける。
回答結果については、個人情報の保護に努め、学級全員の前で結果を公表したり、特定の児童生徒と比較したりしないように気を付ける。
- マイナス面だけでなく、プラス面も見る。
悪いところ、できていないところが気になるところですが、よいところ、努力しているところにも注目して、子供のよさを見つけるようにする。
- 組織的（学校・学年）に取り組む。
組織的に取り組むことで、情報の共有化を図ることができるようになり、また、多面的な分析や、指導や支援の工夫も広がるようになる。



この点を留意して実施してください。



データ入力

入力はExcelを使用します。マクロを設定していますので、セキュリティ設定の変更が必要です。詳しくは、別紙の「『SNSチェックシート』のデータ入力について」を参照してください。

それでは「『SNSチェックシート』のデータ入力について」をホームページからダウンロードして、早速確認します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K		
67	1回目 集計表												
69				1	2	3	4	5	6	7	8		
	番号	氏名	性別	利用日数	SNSの1週間当たりの時間	平日にSNSを利用する	経験年数	SNSを使い始めてから	SNSでメッセージのやり取りをする友達の数	SNSでメッセージのやり取りをするグループの数	個人情報は出さないようにしている	相手から不快な内容が来ないようにしている	SNSでメッセージを送る前に確認をする
70	1	大原台 太郎	男	1	1	1	1	2	1	1	2		
72	2	宮之浦 花子	女	1	4	1	4	2	3	2	4		
74	3												

※ 入力画面の一部です。

○ 「SNSチェックシート」のデータ入力について

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/curriculum/seisi/top.html>



個 票



「SNSチェックシート」の結果の見方について教えてください。



結果は、各個人のデータになる「個票」と学級のデータとなる「学級票」から確認できます。まず、「個票」の見方から説明しますね。

表

「SNS」質問紙 一個票

年 月 日 氏名

1回目 平成 28 年 5 月 17 日
2回目 平成 28 年 10 月 5 日

【 SNSの利用実態 】

	1回目調査	2回目調査
(1) SNSの利用状況	ほぼ毎日使う	ほぼ毎日使う
(2) 平日にSNSを利用する時間	30分～1時間未満	30分未満
(3) SNSを使い始めてからの経験年月	1～2年	2年以上
(4) SNSでメッセージのやり取りをするグループの数	グループチャットはしない	グループチャットはしない
(5) 普段、利用しているSNSのメンバー	学校内のメンバーは半分以上多い	学校内のメンバーは半分以上多い

【 SNS観念の上位項目 】

■ SNSをめぐると「トラブル」への観念の意識

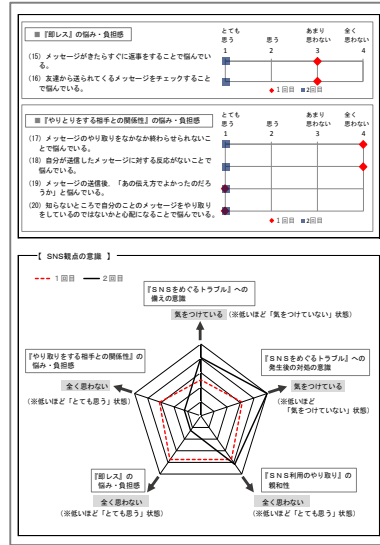
	全く思わない	あまり思わない	思う	とても思う
(6) 住所や電話番号、メールアドレス、顔がうつっている写真の必要のない情報は出ないようにしている。	1	2	3	4
(7) 自分が今後個人情報をどのように扱われるかについて気にしている。	1	2	3	4
(8) メッセージを送る前に内容が正しいか確認するようにしている。	1	2	3	4
(9) 長時間にならないようにメッセージのやり取りをするように気を付けている。	1	2	3	4

■ SNSをめぐると「トラブル」への発生後の対応の意識

	全く思わない	あまり思わない	思う	とても思う
(10) メッセージのやり取りで嫌な気持ちになったときは、直接、家族で気持ちを伝えるように気を付けている。	1	2	3	4
(11) 友達とのやり取りで困ったときは親や先生に相談するようにしている。	1	2	3	4

■ SNS利用のやり取りの観念性

	とても思う	思う	あまり思わない	全く思わない
(12) 友達とメールやチャットでのやり取りを通じて、友達のことを確かめることができる。	1	2	3	4
(13) 友達とメールやチャットでメッセージのやり取りをすることで、友達とのつながりを感じることができる。	1	2	3	4
(14) 友達とメールやチャットでメッセージのやり取りをすることで、友達とのつながりを感じることができる。	1	2	3	4



裏

利用の実態

【 SNSの利用実態 】

	1回目調査	2回目調査
(1) SNSの1週間当たりの利用日数	ほとんど使わない	⇒ あまり使わない
(2) 平日にSNSを利用する時間	30分～1時間未満	⇒ 1～2時間未満
(3) SNSを使い始めてからの経験年月	6か月未満	⇒ 6か月～1年
(4) SNSでメッセージのやり取りをするグループの数	11～20グループ	⇒ 21グループ以上
(5) 普段、利用しているSNSのメンバー	学校内のメンバーが半分以上多い	⇒ 学校内のメンバーが半分以上多い



SNSの利用実態は、「利用日数」、「利用時間」、「経験年月」、「グループ数」、「SNSのメンバー」について把握できます。2回目の調査を実施した場合、1回目の状況と比較できるようになっています。

この子供は、平日にSNSを利用する時間が増えていますね。あと、グループ数も多くなっていますね。

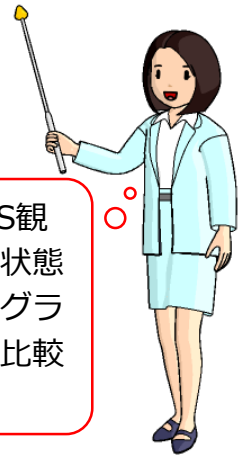


SNS観点と下位項目



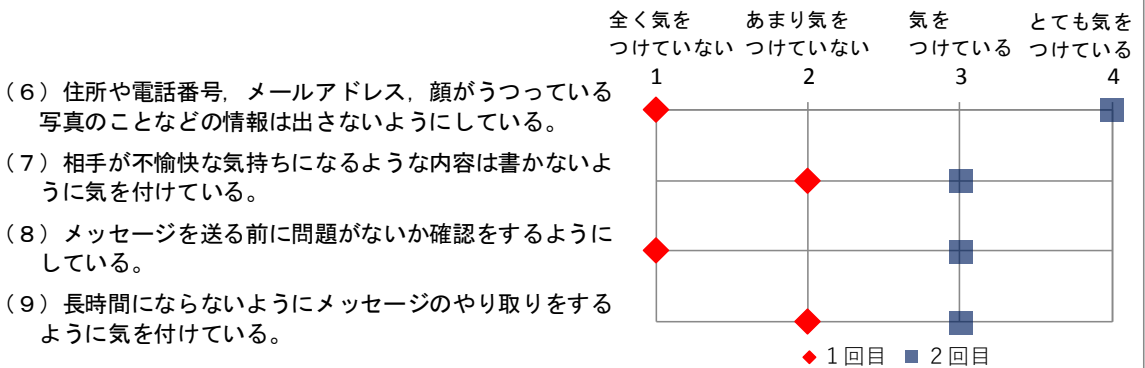
質問項目から分かる心理状態とは具体的にどのようなことでしょうか？

(6)～(15)の15の質問項目は、5つの観点(SNS観点)の下位項目となっており、これらの回答から心理状態を把握できます。これらの回答は、SNS観点ごとに点グラフで確認できるようになっており、1回目と2回目の比較から回答の変容を分析することができます。



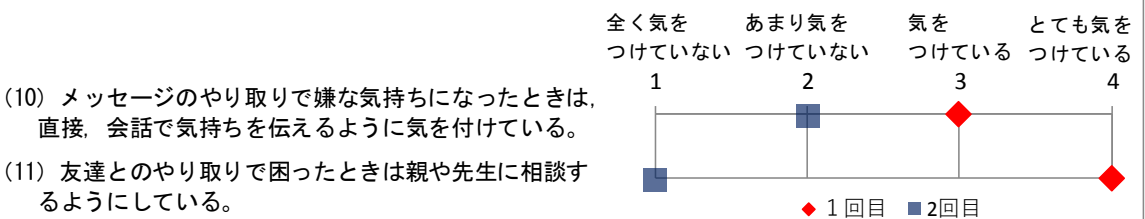
「SNSをめぐるトラブル」への備え

SNSのやり取りで相手との関係性が悪化しないように、相手の立場を気遣ってトラブルを起こさないように注意する意識の強さであり、この意識が弱くなると相手を配慮しなくなりやすいため、相手が誤解をしてしまうメッセージを送ってしまったたり、不快な感情につながるようなやり取りをしてしまったりしてネット上のいじめ問題などのトラブルに発展することも考えられる。



「SNSをめぐるトラブル」への発生後の対処

SNSでのトラブルが発生した際に、直接、気持ちを伝えたり、親や教師に相談したりして対応しようとする意識であり、弱くなるとトラブルが発生した時に不快な感情を友達に伝えずに抱え込んだり、保護者や教師にやり取りで困った悩みを伝えずにいたりする状態にあると考えられる。



■ 「SNSのやり取り」の親和性

SNSを利用することで互いの気持ちの理解は深まり、友達との関係はより親密になれると思う意識になる。この意識が強いと、SNSのやり取りに夢中になったり、常につながっていたいという親和性を求めるようになったりする状態やSNSのグループのメンバーとは関係を深められるがグループ以外とは深く関わり合えないために狭い人間関係になってしまうことが懸念される。

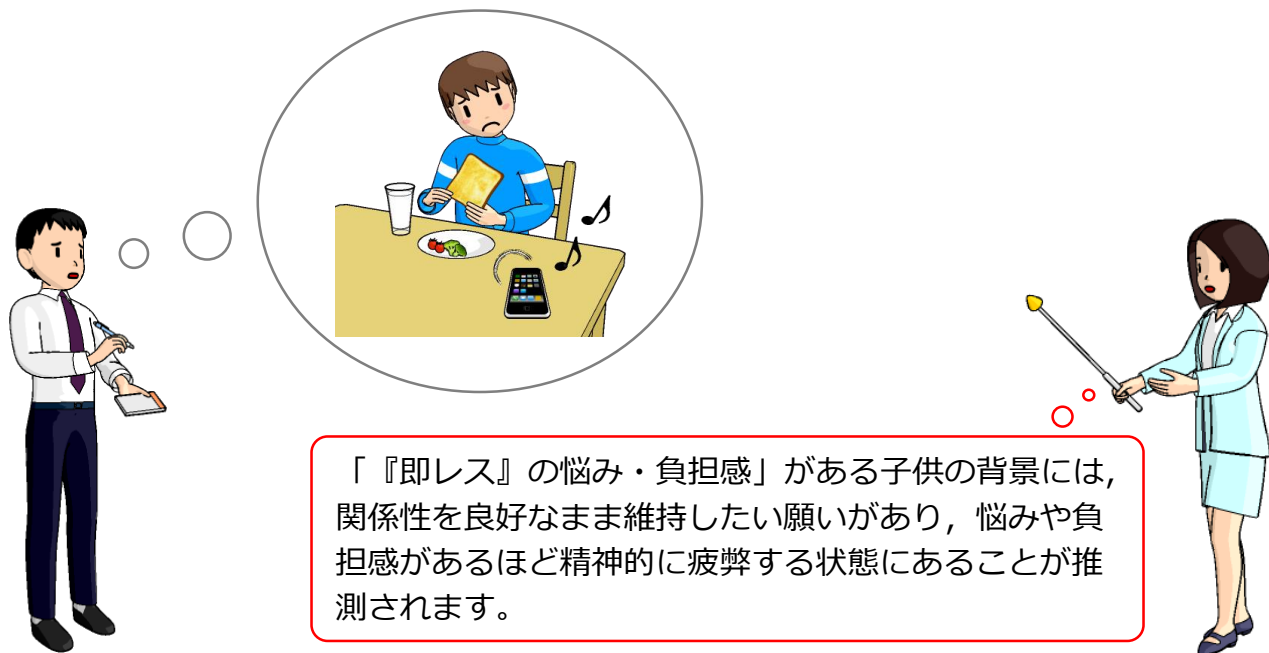
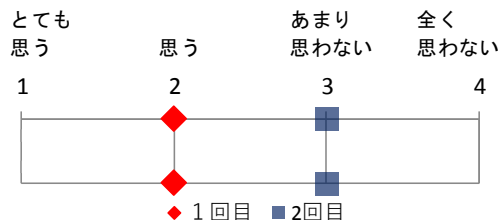
- (12) 友達とメッセージのやり取りをすることで、友達の気持ちを確認することができる。
- (13) 友達とメッセージのやり取りをすることで、友達とのつながりをもてる。
- (14) 友達とメッセージのやり取りをすることで、寂しさをすぐにまぎらわすことができる。



■ 「即レス」の悩み・負担感

「即レス」とは、メッセージを受信後に即座に返信する（レスポンス）ことを意味する。この観点は、SNSでやり取りをする相手が不快な感情にならないように、すぐに返信をしなければならないといった強迫的な観念があるために、返信やチェックが気になって苦しみ悩んでいる意識になる。

- (15) メッセージがきたらすぐに返事をするので悩んでいる。
- (16) 友達から送られてくるメッセージをチェックすることで悩んでいる。

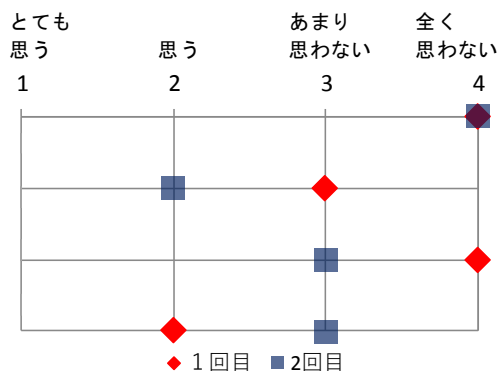


「『即レス』の悩み・負担感」がある子供の背景には、関係性を良好なまま維持したい願いがあり、悩みや負担感があるほど精神的に疲弊する状態にあることが推測されます。

■ 「やり取りをする相手との関係性」の悩み・負担感

SNSを利用する相手から嫌われないように過剰に気を遣っているために、自分の考えや気持ちを伝えられずいたり、相手の気持ちや考えを確認できないために苦しみ悩んでいたりする意識である。この意識が強いと、相手を不快にさせて自分が傷付くことがないように自分の気持ちや考えを自己開示しないようになり、表面的な人間関係しかもてない悩みを抱くようになってしまう状態が推測される。

- (17) メッセージのやり取りをなかなか終わらせられないことで悩んでいる。
- (18) 自分が送信したメッセージに対する反応がないことで悩んでいる。
- (19) メッセージの送信後、「あの伝え方でよかったのだろうか」と悩んでいる。
- (20) 知らないところで自分のことについてメッセージのやり取りをしているのではないかと心配になる。

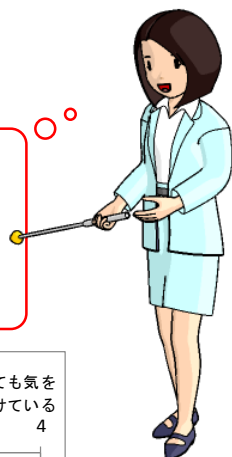


● レーダーチャート



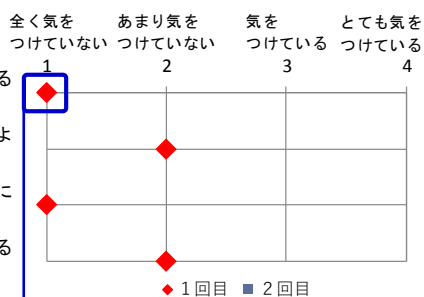
SNS観点はレーダーチャートでも示されるようになっていますが、何を示しているのか教えてください。

質問項目の回答をSNS観点ごとに合計し、その合計点をもっとも望ましい状態に対して、どれくらいの割合であるかを示しています。ですから、グラフが大きい結果が望ましい状態にあると考えてください。

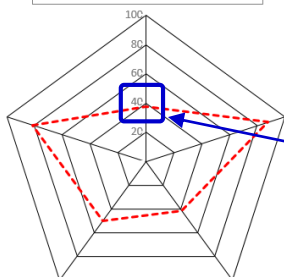


■ 『SNSをめぐるトラブル』への備えの意識

- (6) 住所や電話番号、メールアドレス、顔がうつっている写真のことなどの情報は出さないようにしている。
- (7) 相手が不愉快な気持ちになるような内容は書かないように気を付けている。
- (8) メッセージを送る前に問題がないか確認をするようにしている。
- (9) 長時間にならないようにメッセージのやり取りをするように気を付けている。



『SNSをめぐるトラブル』への備えの意識



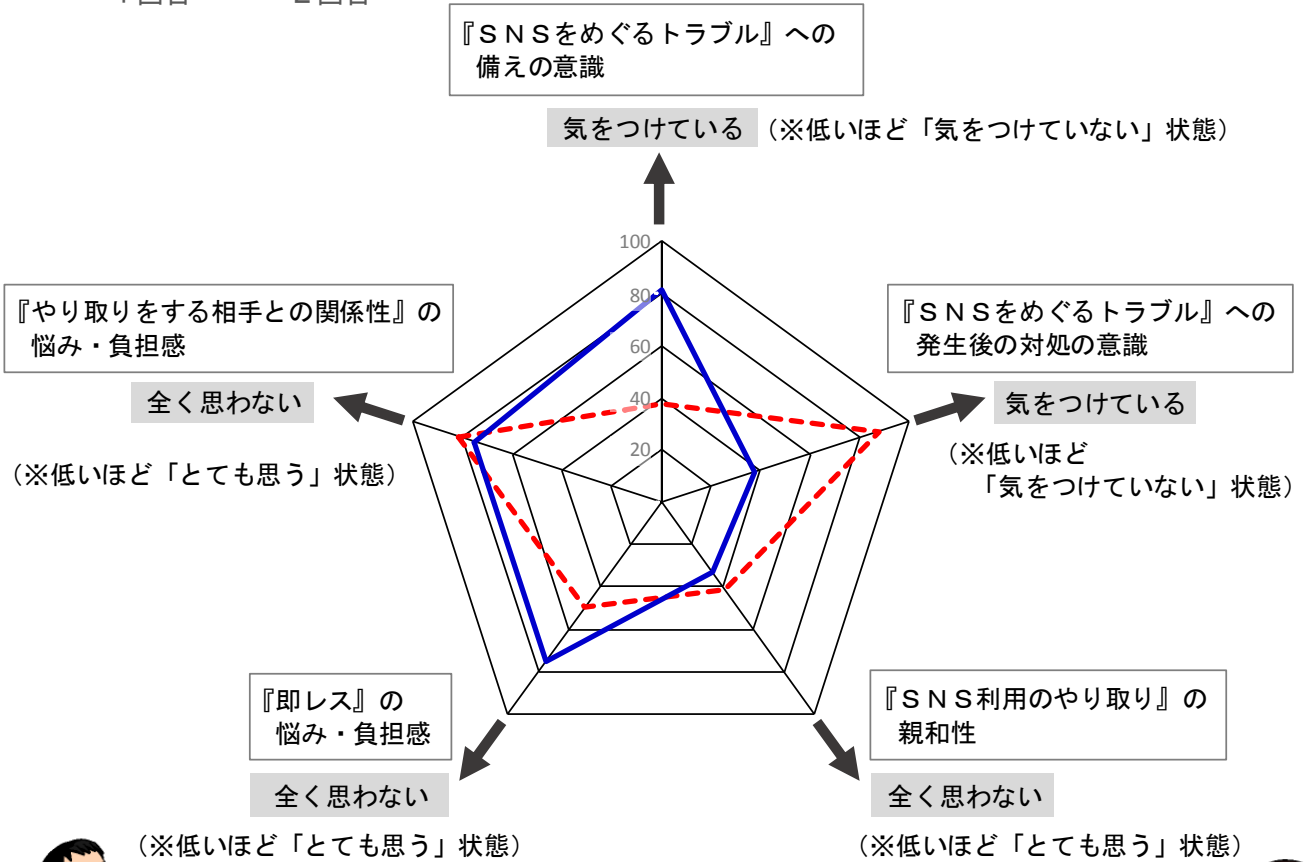
$$1 + 2 + 1 + 2 = 6$$

質問項目の回答をSNS観点ごとに合計

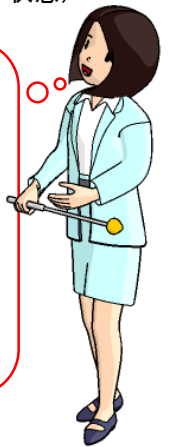
$$6 \div 16 \times 100 = 37.5\%$$

各回答のもっとも望ましい点の合計（ここでは4点×4項目の16点）に対する割合をレーダーチャートで表示

--- 1回目 — 2回目



留意点でもお伝えしましたが、調査結果を否定的に評価したり、叱責するための資料として活用したりしないことが大切になります。否定的な評価や叱責をすると、子供が2回目以降の調査で事実とは異なる回答をするようになるおそれがあります。また、よくないところに注目しがちですが、子供ができているところ、気をつけているところもしっかりと確認することも大切です。



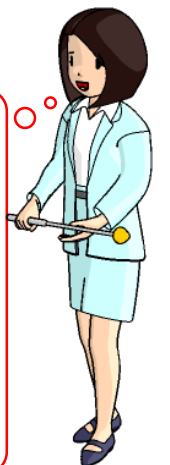
● SNSをよく利用する子供の特徴

SNSをよく利用する子供はどのような特徴があるのでしょうか。また、効果的な指導・支援について教えてください。



実態調査により、SNSを利用する時間が増えると、親和性が強くなって相手を気遣ったやり取りをしなくなったり、メッセージの応答や関係性に悩み、負担感を抱きやすくなったりすることが明らかとなっています。

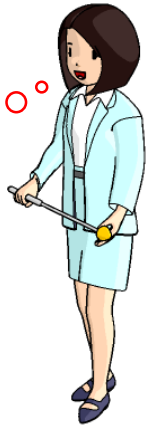
このようなことから、SNSをよく利用する児童生徒には、自分を素直に表現できる行動力や、相手を大切にできるコミュニケーション力を高める指導・支援が特に必要であると考えますが、効果的な取組みについてはまだまだ研究が必要な段階です。



学級票



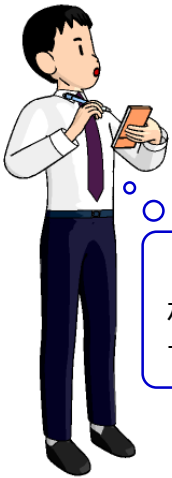
次は「学級票」についてです。
「学級票」は、学級運営を考えるための重要な資料になります。学級の子供たちの実態を把握しやすいように、度数分布表やグラフで視覚的に確認できるようになっています。
「学級票」の説明では、一部を取り上げて見ていきます。



● 利用の実態

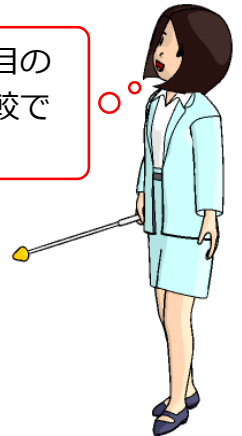
【 SNSの利用実態 】

	1回目	2回目
(1) SNSの1週間当たりの利用日数		
ほぼ毎日使う	35 ⇒	28
ときどき使う(週に3~4日くらい)	2 ⇒	6
あまり使わない(週に1~2日くらい)	2 ⇒	2
ほとんど使わない(月に数回)	1 ⇒	3



SNSの利用実態は、度数分布表で確認します。2回目の調査を実施した場合、学級全体の1回目の状況と比較できるようになっています。

「ほぼ毎日使う」と回答した人数が減っていますね。なるほど、度数分布だとクラス全体の実態が分かりやすいです。



● SNS観点と下位項目



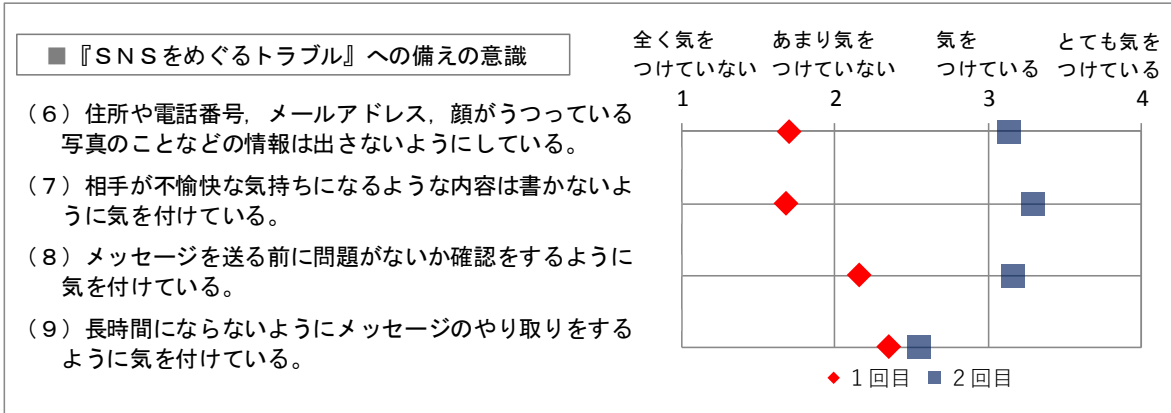
(6) ~ (20) のSNS観点の下位項目は、

- ・ 平均値を示す点グラフ
- ・ 選択した回答の人数を示す度数分布
- ・ 度数分布の割合を示す帯グラフ

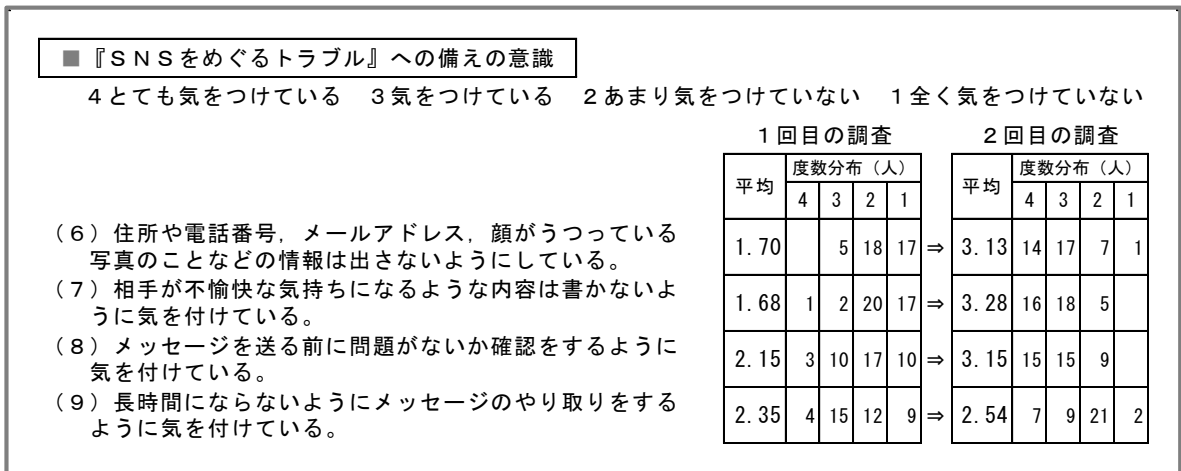
以上、3種類から学級の状況を確認できるようになっています。なお、SNS観点のレーダーチャートは学級の平均値で示されます。



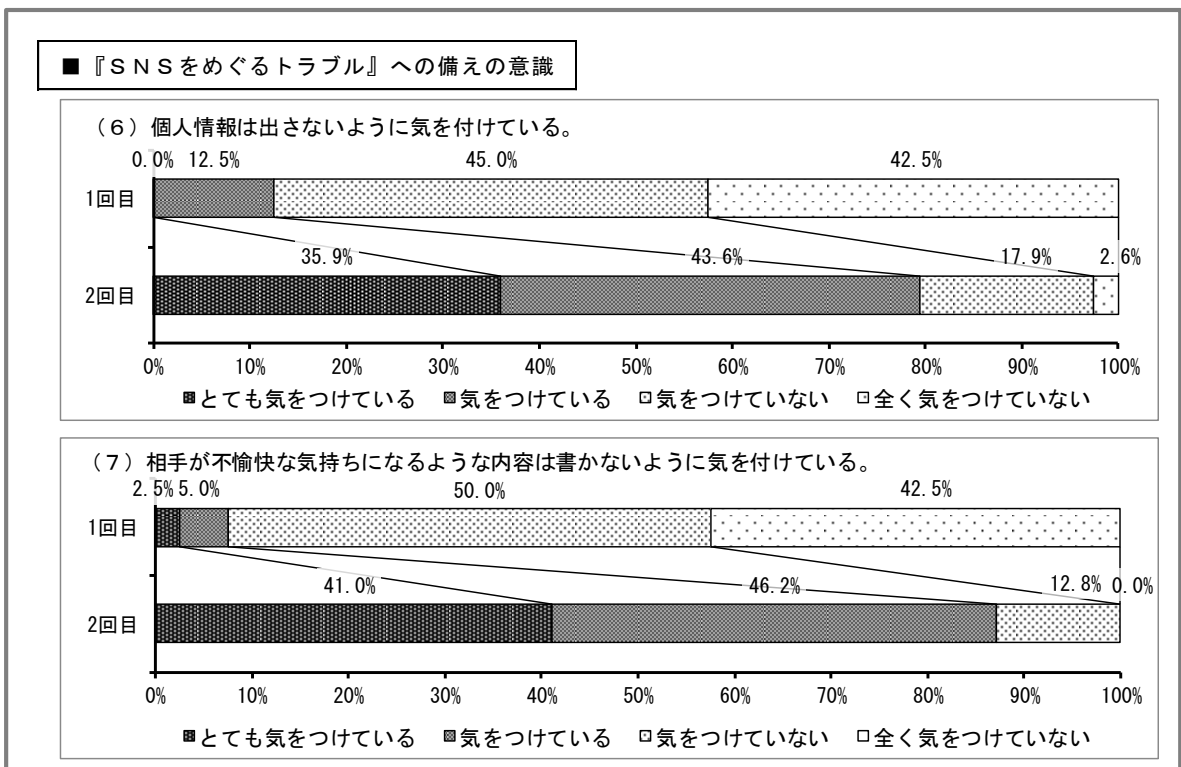
・ 平均値を示す点グラフ



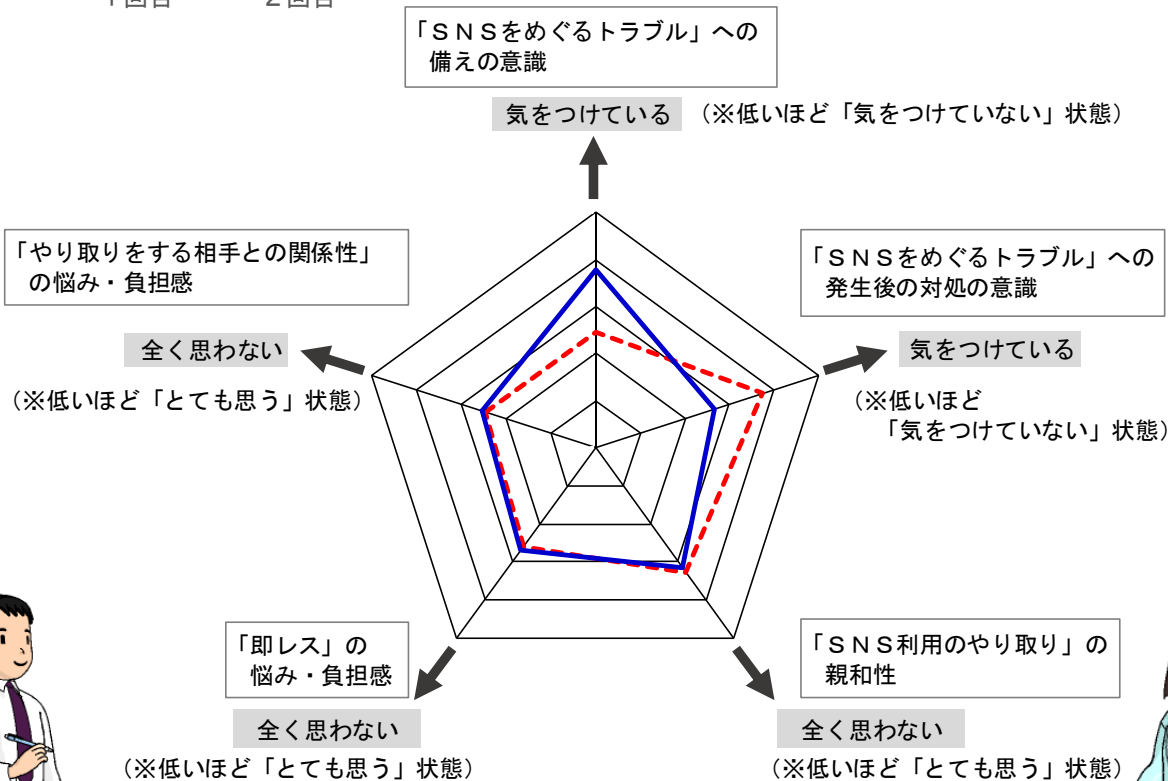
・ 選択した回答の人数を示す度数分布



・ 度数分布の割合を示す帯グラフ



--- 1回目 — 2回目



2回目の結果から、子供たちに期待する変化が見られなかった場合、その後の取組に向けた改善策を考えることが重要になります。このことについては、研究紀要第121号に詳しくまとめているので、参考にしてください。

研究紀要はダウンロードできます。



- 参考：「SNSを利用する児童生徒」を考えた学級の指導・支援
実態調査により、次のことが明らかになっています。学級経営の参考にしてください。

- SNSを利用しない児童生徒

SNSを利用する児童生徒が多くなると、友達との会話や活動に楽しさを感じなくなったり、クラスへの所属感が低くなったりして、孤独感や疎外感を抱くようになりやすい。このことから、誰とでも分け隔てなく一緒に活動できる協調的行動力や、SNSをする友達とでも一緒に活動することができる適応的行動力を高める指導・支援をすることが特に必要である。



- SNSを利用する児童生徒

SNSをする相手とは親しい関係を築き親和性を意識する傾向があるが、SNSの利用時間が増えると、相手を気遣ったやり取りをしなくなったり、メッセージの応答や関係性に悩んだり、負担感を抱きやすくなったりしやすい。このことから、自分の考えや気持ちを率直に表現できる行動や、相手の伝えたいことを理解することを大切にできるコミュニケーション行動を高める指導・支援が特に必要である。



「学校楽しいーと」との併用

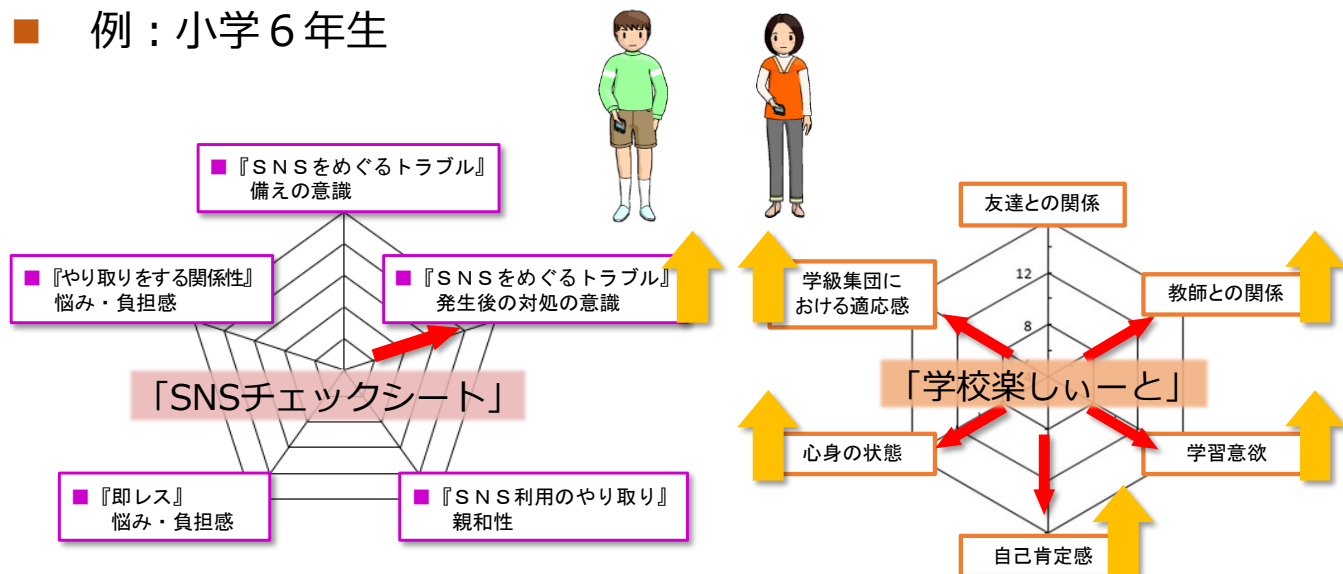
「SNSチェックシート」は「学校楽しいーと」と一緒に使うと子供たちを多面的にアセスメントできると思いました。



はい、その通りです。「SNSチェックシート」は「学校楽しいーと」と併用することで、児童生徒理解（アセスメント）は深まります。実は、「SNSチェックシート」のSNS観点と、「学校楽しいーと」の6つの観点には相関関係があることが分かっていますので、そこを意識した取組むアプローチは、子供たちの有効な支援になると考えられます。

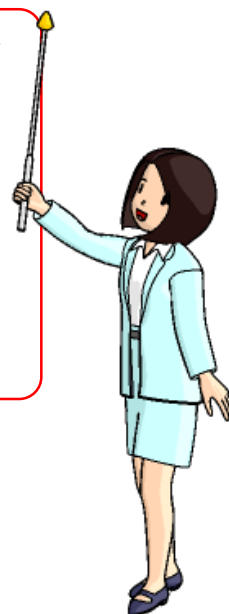


例：小学6年生



例えば、小学6年生では、「SNSをめぐるトラブル」への発生後の対処の意識と、「教師との関係」、「学習意欲」、「自己肯定感」、「心身の状態」、「学級集団における適応感」は正の相関関係にあります（次のページを参照）ので、「SNSをめぐるトラブル」への発生後の対処を意識するようになると、「教師との関係」、「学習意欲」、「自己肯定感」、「心身の状態」、「学級集団における適応感」の数値は高まり、より適応できる状態になることが期待されます。

正の相関関係は、一方が高まればもう一方も高まる、一方が下がればもう一方も下がるということなんです。



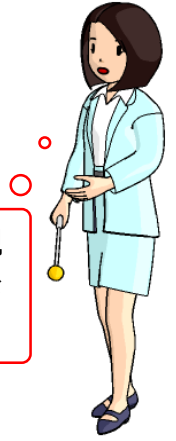
■ 小学6年生

	「友達との関係」の良好さ	「教師との関係」の良好さ	「学習意欲」の良好さ	「自己肯定感」の高さ	「心身の状態」の良好さ	「学級集団における適応感」の高さ
「『SNSをめぐるトラブル』への備え」を意識する。	正の相関	正の相関	正の相関	正の相関		正の相関
「『SNSをめぐるトラブル』への発生後の対処」を意識する。		正の相関	正の相関	正の相関	正の相関	正の相関
「『SNS利用のやり取り』の親和性」を思わない。		負の相関				負の相関
「『即レス』の悩み・負担感」がない。						
「『やり取りをする相手との関係性』の悩み・負担感」がない。	正の相関		正の相関	正の相関	正の相関	正の相関



「『SNS利用のやり取り』の親和性」のSNS観点は、「教師との関係」、「学級集団における適応感」は負の相関になっていますが、どのように理解すればよいのでしょうか。

この関係については、児童が「『SNS利用のやり取り』の親和性」を思わなければ、「教師との関係」、「学級集団における適応感」は低くなるということになります。



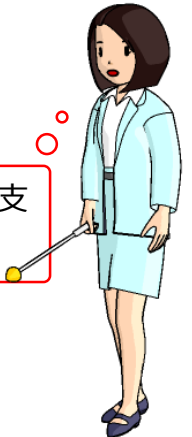
■ 中学2年生

	「友達との関係」の良好さ	「教師との関係」の良好さ	「学習意欲」の良好さ	「自己肯定感」の高さ	「心身の状態」の良好さ	「学級集団における適応感」の高さ
「『SNSをめぐるトラブル』への備え」を意識する。		正の相関	正の相関	正の相関		正の相関
「『SNSをめぐるトラブル』への発生後の対処」を意識する。	正の相関	正の相関	正の相関	正の相関		正の相関
「『SNS利用のやり取り』の親和性」を思わない。	負の相関			負の相関		負の相関
「『即レス』の悩み・負担感」がない。		負の相関				負の相関
「『やり取りをする相手との関係性』の悩み・負担感」がない。	正の相関				正の相関	



小学6年生と同じところが多いように見えますが、よく見ると、違うところもありますね。

そうですね。このようなことから、発達段階に応じた指導・支援を考えることが大切になります。



■ 高校1年生

	「友達との関係」の良好さ	「教師との関係」の良好さ	「学習意欲」の良好さ	「自己肯定感」の高さ	「心身の状態」の良好さ	「学級集団における適応感」の高さ
「『SNSをめぐるトラブル』への備え」を意識する。		正の相関	正の相関	正の相関		
「『SNSをめぐるトラブル』への発生後の対処」を意識する。	正の相関	正の相関	正の相関	正の相関		正の相関
「『SNS利用のやり取り』の親和性」を思わない。	負の相関		負の相関	負の相関		負の相関
「『即レス』の悩み・負担感」がない。						
「『やり取りをする相手との関係性』の悩み・負担感」がない。	正の相関		正の相関	正の相関	正の相関	正の相関

■ 高校2年生

	「友達との関係」の良好さ	「教師との関係」の良好さ	「学習意欲」の良好さ	「自己肯定感」の高さ	「心身の状態」の良好さ	「学級集団における適応感」の高さ
「『SNSをめぐるトラブル』への備え」を意識する。			正の相関			
「『SNSをめぐるトラブル』への発生後の対処」を意識する。	正の相関	正の相関	正の相関	正の相関		正の相関
「『SNS利用のやり取り』の親和性」を思わない。	負の相関	正の相関		負の相関	正の相関	負の相関
「『即レス』の悩み・負担感」がない。	正の相関					正の相関
「『やり取りをする相手との関係性』の悩み・負担感」がない。	正の相関	正の相関			正の相関	正の相関



高校生は1年生と2年生で違うところがあるのですね。ところで、ここにはない他の学年はどうなっているのでしょうか？

はい。データは、平成27年度に実施した学年しかありません。小学5年生や中学1・3年生、高校3年生については、今後、調べていく予定でいます。



「SNSチェックシート」は、平成29年度以降の生徒指導実践向上プログラムや移動講座の研究で取り扱っていきます。また、校内研修の支援も受け付けますので御連絡ください。



平成29年3月発行 「SNSを利用する子供たちの指導・支援に役立つ SNSチェックシート解説書」
 【編集兼発行】 鹿児島県総合教育センター 〒891-1305 鹿児島県鹿児島市宮之浦町862
 代表(099)294-2311 FAX(099)294-2309 URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>
 E-Mail center@edu.pref.kagoshima.jp